

アウトカム評価・臨床指標 / 医療機能の変化に係る特別調査について

1. 調査の目的

DPC 導入による患者アウトカムや医療プロセスの変化または影響及び医療機能の変化について、臨床指標等を活用し評価を行う。

2. 班構成

【診療報酬調査専門組織委員】

武澤 純：名古屋大学大学院救急・集中治療医学/教授（班長）

西岡 清：横浜赤十字病院/病院長

柿田 章：北里大学名誉教授（私立医科大学協会/副会長）

原 正道：横浜市立大学医学部/教授

松田晋哉：産業医科大学公衆衛生学/教授

信友浩一：九州大学大学院医療システム学/教授

酒巻哲夫：群馬大学医学部医療情報部/教授

【診療報酬調査専門組織外の委員】

吉田勝美：聖マリアンナ大学予防医学/教授

長谷川敏彦：国立保健医療科学院政策科学部/部長

石田達樹：東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター/専門職員

小山信彌：東邦大学医学部附属大森病院/病院長

注： は班長

3. 調査方法

(1) 調査方法

DPC の導入に前後して毎年 7～10 月に実施される退院患者調査および医療機能評価に係るアンケート調査を素材として、アウトカム評価、臨床指標に係る集計・分析を行う。

具体的な進め方は下記のとおり。

- ・ 評価指標について、短期的な指標、長期的な指標に分けて整理し、指標の定義（分子 / 分母の定義）、データの収集方法について検討する。
 -) 臨床指標案の中から収集が容易で患者アウトカムと医療プロセスの変化を反映するものを選び、全体の平均値の推移を評価する。
 -) 様式 1 と E・F ファイルに含まれる項目に関しては平成 14 年から平成 16 年（7 月から 10 月）の収集データから調査を行うこととし、医療機能に関する調査で上記指標に含まれない指標は別途調査を行う。
- ・ 医療機能評価に係るアンケート調査を行う。（調査票別紙参照）
- ・ これら両者のデータを統合し、アウトカム評価、臨床指標に係る集計・分析を行う。

(2) 調査対象病院

DPC 対象病院 (特定機能病院等)

DPC 試行病院

DPC 調査協力病院

(3) 調査票

退院時患者調査から収集する調査項目：別紙 1 a

医療機能に関する調査項目：別紙 1 b

エクセルに本票を作成して入力シートとし、エクセルに入力すると別途提出用データが作成できるようにして病院の負荷軽減を図った。

4 . 調査の実施状況 (詳細は、別紙 2)

12 月 17 日 調査説明会開催

1 月 14 日 調査票の発送

2 月 10 日 データ提出期限 (データ収集状況の詳細は、別紙 2)

2 月 14 日 ~ データクリーニング・データ集計

5 . 調査結果の粗集計

現在までに回答が得られた 2 3 2 病院のデータについて、データクリーニングを行っているが、調査データ作成およびデータ入力に際してのエラーが散見されるため、該当データの再調査を取り急ぎ依頼する予定である。

医療機能について、可能な範囲でエラーデータのクリーニングを行ったうえで、粗集計を行った結果は別紙 3 のとおり。

□調査票1～8に共通する入力ルールの記載

- 調査票1～調査票8までの8枚のシートそれぞれにデータを入力して下さい。
- 黄色で塗られた項目のみが必要入力項目です。
- データ取得期間
 - 各項目の対象期間は、収集期間欄に示しています。調査にあたって年間分を集計することが困難な場合は、調査期間中の任意の1ヶ月間の集計値を記載してください。
 - その場合は、備考欄に調査期間を明記してください
- 該当しない項目
- 各項目の事項が貴院に該当しない(存在しない)場合、備考欄に「該当なし」と明記してください
- データを取得できない場合
 - データを取得できない項目に関しては、備考欄に「取得不能」と明記し、取得できない理由も備考欄に続けてご記入の上、お知らせください。
- データ入力ルール
 - 1) (数値入力) 単位(人、床、件等)は記載せず、数値のみ記載してください
 - 2) (チェックリスト項目) 分子が「有無」の場合は、該当欄に「有」または「無」でお答えください。また、貴院に該当しない場合は「該当しない」を選択肢から選択してください

□その他必要と思われる事項の設定、記載

- 担当者連絡先 こちらもご記入下さい

施設コード	記載担当者名	所属	連絡先

(病状構成比率表)

病状	病状数	病棟数	うち、夜間勤務等看護加算対象手術件数	分子 [単位]	分母 [単位]	測定期間	情報収集方法 (情報源)	備考 (測定期間等)
総病状数				総病状数	総病状数	平成16年7月1日時点		
一般病状				一般病状	一般病状	平成16年7月1日時点		
精神病状				精神病状	精神病状	平成16年7月1日時点		
感染症病状				感染症病状	感染症病状	平成16年7月1日時点		
医療事故病状				医療事故病状	医療事故病状	平成16年7月1日時点		
介護療養病状				介護療養病状	介護療養病状	平成16年7月1日時点		

注1: 病状数とは、病状診断として処方された病状をいふ

(病状利用法に係る情報)

病状	分子	分母	分子 [単位]	分母 [単位]	測定期間	情報収集方法	備考
新規入院患者数			新規入院患者数	新規入院患者数	DPC期間中	医療記録	
一般病状 (病状)			一般病状	一般病状	DPC期間中	医療記録	
うち、回復期/ICU/ICU			回復期/ICU/ICU	回復期/ICU/ICU	DPC期間中	医療記録	
療養病状 (医療記録)			療養病状	療養病状	DPC期間中	医療記録	
うち、回復期/ICU/ICU			回復期/ICU/ICU	回復期/ICU/ICU	DPC期間中	医療記録	
うち、特養施設療養病状			特養施設療養病状	特養施設療養病状	DPC期間中	医療記録	
療養病状 (介護)			療養病状 (介護)	療養病状 (介護)	DPC期間中	医療記録	
精神療養病状			精神療養病状	精神療養病状	DPC期間中	医療記録	
認知症病状			認知症病状	認知症病状	DPC期間中	医療記録	
長期 (90日以上) 入院患者数 (一般病状)			長期 (90日以上) 入院患者数	長期 (90日以上) 入院患者数	平成16年7月1日時点	医療記録	

注: 病状利用法 = (調査期間中の病状患者数) / (調査期間中の日数) × 100

(手術件数)

手術	分子	分母	分子 [単位]	分母 [単位]	測定期間	情報収集方法	備考
H14 入院手術件数 (注1)			入院手術件数	入院手術件数	DPC期間中	医療記録	
H14 自働手術件数 (注2)			自働手術件数	自働手術件数	DPC期間中	医療記録	
H14 緊急手術件数 (注3)			緊急手術件数	緊急手術件数	DPC期間中	手術記録	
H15 入院手術件数 (注1)			入院手術件数	入院手術件数	DPC期間中	医療記録	
H15 自働手術件数 (注2)			自働手術件数	自働手術件数	DPC期間中	医療記録	
H15 緊急手術件数 (注3)			緊急手術件数	緊急手術件数	DPC期間中	手術記録	
H16 入院手術件数 (注1)			入院手術件数	入院手術件数	DPC期間中	医療記録	
H16 自働手術件数 (注2)			自働手術件数	自働手術件数	DPC期間中	医療記録	
H16 緊急手術件数 (注3)			緊急手術件数	緊急手術件数	DPC期間中	手術記録	

注1: 入院患者を対象とする。手術件数とは、手術記録コードを算定した全ての件数をさす

注2: 手術室で実施された手術をいふ。手術記録コードを算定した全ての件数をさす

注3: 緊急手術とは、手術室に搬送された患者に対して、手術室に搬送された患者の生命を脅かす手術をいふ。手術記録コードを算定した全ての件数をさす

(分娩件数)

分娩	分子	分母	分子 [単位]	分母 [単位]	測定期間	情報収集方法	備考
H14 正常分娩件数			正常分娩件数	正常分娩件数	DPC期間中	産科記録	
H14 異常分娩件数 (注1)			異常分娩件数	異常分娩件数	DPC期間中	産科記録	
H14 帝王切開件数			帝王切開件数	帝王切開件数	DPC期間中	産科記録	
H15 正常分娩件数 (注1)			正常分娩件数	正常分娩件数	DPC期間中	産科記録	
H15 帝王切開件数 (注1)			帝王切開件数	帝王切開件数	DPC期間中	産科記録	
H16 正常分娩件数 (注1)			正常分娩件数	正常分娩件数	DPC期間中	産科記録	
H16 帝王切開件数 (注1)			帝王切開件数	帝王切開件数	DPC期間中	産科記録	

注1: 異常分娩とは、早産、前置胎盤、胎前出血を原因とし、母子分娩および分娩後の健康状態をさす。

(処方薬費)

処方薬費	分子	分母	分子 [単位]	分母 [単位]	測定期間	情報収集方法	備考
処方薬費			処方薬費	処方薬費	DPC期間中	医療記録	

調査票

(地域医療の連携状況)

外来	初診患者の数 (A)(人)	再診患者の数 (B)(人)	初診患者の数(内、時間外・休日又は夜間に受診した6歳未満の患者を除く。)(C)(人)	一人あたり通院回数(自動車計) (A+B)÷C	文書により紹介された初診患者の数の数(人)	緊急時の自動車での搬送された初診患者の数の数(人)	時間外・休日又は夜間に受診した6歳未満の患者の数の数(人)
外来	総数(人)	期間外初診(人)	特別の検査の無い再診患者の数の数(人)	期間外初診(人)	200床以上の病院の再診患者の数の数(人)	診療情報提供社による再診患者の数の数(人)	入院外(人)

注1: 初診患者の数(時間外・休日又は夜間に受診した6歳未満の患者を除く。)= 初診患者の数(時間外・休日又は夜間に受診した6歳未満の患者を除く。)- 初診患者の数の数(時間外・休日又は夜間に受診した6歳未満の患者を除く。)

注2: 初診患者の数は、再診患者の数を除く。再診患者の数は、再診患者の数を除く。

注3: 初診患者の数は、再診患者の数を除く。再診患者の数は、再診患者の数を除く。

注4: 患者が二つに分かれていますが、下の表は上の表の再掲ではありません。表が揃っていませんので表を載せてください。

(検査結果の状況)

	全患者	再診患者	初診患者	特別の検査の無い再診患者(再診)	再診患者	初診患者	備考欄
平均検査料(検査)						11月1日～11月30日	
平均検査料(一般)						11月1日～11月30日	
平均検査料(老人)						11月1日～11月30日	

注1: 初診患者の数は、再診患者の数を除く。再診患者の数は、再診患者の数を除く。

注2: 初診患者の数は、再診患者の数を除く。再診患者の数は、再診患者の数を除く。

注3: 初診患者の数は、再診患者の数を除く。再診患者の数は、再診患者の数を除く。

注4: 患者が二つに分かれていますが、下の表は上の表の再掲ではありません。表が揃っていませんので表を載せてください。

(検査結果の状況)

	分子	分母	分子 [単位]	分母 [単位]	分子 [単位]	分母 [単位]	備考欄
緊急外来受診患者数			緊急外来受診患者数	[人]	延べ外来患者数	[人]	DP-C調査期間中
うち、小児(15歳未満)緊急外来受診患者数			緊急外来受診患者数(15歳未満)	[人]	延べ外来患者数	[人]	DP-C調査期間中
各科急診患者数(注1)			各科急診患者数	[人]	延べ緊急外来受診患者数	[人]	DP-C調査期間中
うち、初発緊急外来受診患者数(注2)			初発緊急外来受診患者数	[人]	延べ緊急外来受診患者数	[人]	DP-C調査期間中
うち、再発緊急外来受診患者数(注2)			再発緊急外来受診患者数	[人]	延べ緊急外来受診患者数	[人]	DP-C調査期間中
うち、即入院した外来受診患者数(注3)			即入院した外来受診患者数	[人]	延べ緊急外来受診患者数	[人]	DP-C調査期間中
うち、時間外および休日に受診患者数(注4)			時間外および休日に受診患者数	[人]	延べ緊急外来受診患者数	[人]	DP-C調査期間中

注1: 各科急診患者数、緊急外来受診患者数を算定した患者数

注2: 各科急診患者数、緊急外来受診患者数を算定した患者数

注3: 各科急診患者数、緊急外来受診患者数を算定した患者数

注4: 時間外急診(夜間診療)コード: A001-5, 6(初診料), A001-3, 4(再診料), A002-4(5)により判断してください

(検査結果の状況)

	分子	分母	分子 [単位]	分母 [単位]	分子 [単位]	分母 [単位]	備考欄(測定期間等)
2次医療圏以外からの外来患者数(注1)			2次医療圏以外からの外来患者数	[人]	延べ外来患者数	[人]	11月1日～11月30日
2次医療圏以外からの入院患者数(注2)			2次医療圏以外からの入院患者数	[人]	入院患者数	[人]	11月1日～11月30日

注1: 2次医療圏とは、医療法第30条の3第2項第1号及び患者住居地及び患者住居地を規定する区域をさします。範囲所在地及び患者住居地により判断してください。

注2: 2次医療圏とは、医療法第30条の3第2項第1号及び患者住居地及び患者住居地を規定する区域をさします。範囲所在地及び患者住居地により判断してください。

調査票3

○ 以下の項目について、平成14年度、平成15年度及び16年度前半(6ヶ月間)の実績を記入してください。

(高度医療の提供実績)

	14年度	15年度	16年度前半	情報収集方法	備考
高度先進医療の承認件数	[件]			治療管理センター記録	
高度先進医療の実施件数	[件]			治療管理センター記録	
高度先進医療の申請中件数	[件]			治療管理センター記録	
治療契約件数	[件]			治療管理センター記録	
治療実施件数	[件]			治療管理センター記録	

・調査対象の「治療」の範囲は、特定療養費の対象となる薬事法上の治療(薬事法(昭和35年法律第145号)第2条第7項に規定する治療)の範囲としてください。
 ・「治療実施件数」は、プロトコル数としてください。(治療対象患者数ではありません。)また、調査期間中に実施されたプロトコル数としてください。(必ずしも契約件数の内訳と異なることがあります。)
 ・「治療契約件数」は、プロトコル数としてください。また、新規契約と以前からの契約件数(複数年度契約の場合)を合計した数をご記入ください。

	14年度	15年度	16年度前半	情報収集方法	備考
治療完全実施率	[%]			治療管理センター記録	
・「治療完全実施率」は、治療にエントリーされた患者のうち、中止・脱落を除いて最終的にプロトコルを終了した患者の率を記入してください。集計対象となる治療の範囲は、特に限っておりませんので、「契約症例数全てが終了した治療」に限った率としていただく必要はありません。					
専任の治療担当職員による治療管理センター設置の有無	選択して下さい	選択して下さい	選択して下さい	治療管理センター記録	

○各年度7月1日時点での状況を「有」又は「無」でご記入ください。

(臓器移植)

	14年度	15年度	16年度前半	情報収集方法	備考
心臓移植件数	[件]			診療記録	
肝臓移植件数(注1)	[件]			診療記録	
腎臓移植件数(注2)	[件]			診療記録	
肺移植件数(注2)	[件]			診療記録	
造血細胞移植(骨髄移植・同種末梢血幹細胞移植・臍帯血移植)	[件]			診療記録	

注1:生体肝移植を含む

注2:生体腎、死体腎移植を含む

注3:生体肺移植を含む

(教育研修機能)

[単位]	数	数	測定期間	情報収集方法	備考欄
医師数	[人]		平成16年11月1日時点		
指述医の数	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、常勤の指述医数	[人]		平成16年11月1日時点		
5年以上の経験有する医師の数	[人]		平成16年11月1日時点		
専門医または認定医の数	[人]		平成16年11月1日時点		
研修医の受入数	[人]		平成15年度 年間		
研修1年目の研修医の受入数	[人]		平成15年度 年間		
研修2年目の研修医の受入数	[人]		平成15年度 年間		
研修3年目以降の研修医の受入数	[人]		平成15年度 年間		
研修競争率(マッチング倍率)	[倍]		平成16年度 実績	医療研修推進財団医師臨床研修マッチング協議会	
病理医数	[人]		平成16年11月1日時点		
病理解剖(剖検)の数	[件]		DPG調査期間中		
OPC(臨床病理検討会)の検討症例数	[症例]		DPG調査期間中		
麻酔科医数	[人]		平成16年11月1日時点		
放射線診断医数	[人]		平成16年11月1日時点		
薬剤師数	[人]		平成16年11月1日時点		
薬学実習受入学生数	[人]		平成15年度 年間		
放射線技師数	[人]		平成16年11月1日時点		
放射線技師実習受入学生数	[人]		平成15年度 年間		
検査技師数	[人]		平成16年11月1日時点		
検査技師実習受入学生数	[人]		平成15年度 年間		
理学療法士数	[人]		平成16年11月1日時点		
理学療法士実習受入学生数	[人]		平成15年度 年間		
作業療法士数	[人]		平成16年11月1日時点		
作業療法士実習受入学生数	[人]		平成15年度 年間		
上記以外の研修生数	[人]		平成15年度 年間		
常設の研修管理委員会(卒後臨床研修センター等)の有無	[有無]	選択して下さい	平成16年11月1日時点		
職員数	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、専任の職員の数	[人]		平成16年11月1日時点		
研修力向上プログラムの有無	[有無]	選択して下さい	平成16年11月1日時点		
指述医講習会(注7)に参加した指述医の数	[人]		平成15年度 年間		

注1：指述医は、臨床研修病院の基準にあるように、7年以上の臨床経験を有するものであって、

「ファミリーケアを中心とした指導を行うことが得意な経験及び能力を有している者」

注2：「5年以上の経験有する医師」としては、臨床経験年数を基本とし、年数を判断してください。(指述医としての経験年数ではありません。)

注3：「専門医・認定医」の範囲については、特に限っておられません。また、学会によっては専門医・認定医という名称以外の名称(指述医等)を用いている場合も含まれていただくこととなります。

注4：「病理解剖(剖検)の数」は、病院内で行われた件数としてください。(病院内に勤務する医師が他の機関において行った病理解剖の数も含めません。)

注5：OPC(臨床病理検討会)の開催回数(検討症例数)には、専任の症例検討委員会の開催回数(検討症例数)を含めません。専任の症例検討委員会の開催回数(検討症例数)については、解説が行われずと事例について、解剖を招いた医師を招いて実施したOPCにおける症例は、検討症例数に含まれていないこととなります。

注6：研修管理委員会は、「医学教育のためのワーキンググループ(厚生労働省、文部科学省主催)」など、指述医講習会(注7)に参加した指述医の数に含めていただくこととなります。

注7：指述医講習会は、「医学教育のためのワーキンググループ(厚生労働省、文部科学省主催)」など、指述医講習会(注7)に参加した指述医の数に含めていただくこととなります。

調査票5

(地域医療との連携状況)

地域医療連携室の設置の有無 (注1)	[有無]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
地域医療連携室の設置の有無 (注1)	[有無]	選択して下さい	平成16年11月1日時点		
24時間診療受付体制の有無	[有無]	選択して下さい	平成16年11月1日時点		

注1:「地域医療連携室」については、今回の調査においては、貴院で地域連携室として位置づけているものがあれば、「あり」としていただいております。

(医療の安全に即する取り組み)

(医療の安全に係る安全管理を行う者(リスクマネージャー)の職種別人数)

医師・歯科医師	[人]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
医師・歯科医師	[人]		平成16年11月1日時点		
看護師	[人]		平成16年11月1日時点		
薬剤師	[人]		平成16年11月1日時点		
その他:具体的に職種を記入してください。()	[]		平成16年11月1日時点		

医療にかかると安全管理のための委員会の職種別人数

医師・歯科医師	[人]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
医師・歯科医師	[人]		平成16年11月1日時点		
看護師	[人]		平成16年11月1日時点		
薬剤師	[人]		平成16年11月1日時点		
その他:具体的に職種を記入してください。()	[]		平成16年11月1日時点		

院内感染対策

院内感染対策専門職員数	[人]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
院内感染対策専門職員数	[人]		平成16年11月1日時点		

(医療にかかると安全管理のための委員会の年間開催回数)

回数	[回]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
医療にかかると安全管理のための委員会の年間開催回数(回)	[回]		平成15年度	年間	

(看護師配置の集積)

看護職員数	[人]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法	備考欄
看護職員数	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、常勤看護職員数	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、平成15年度採用人数	[人]		平成15年度	実績	
専門看護師数 (注1)	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、平成15年度採用人数	[人]		平成15年度	実績	
認定機関別人数	[] [人]		平成15年度	実績	
認定機関()	[] [人]		平成15年度	実績	
認定看護師数 (注1)	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、平成15年度採用人数	[人]		平成15年度	実績	
認定機関別人数	[] [人]		平成15年度	実績	
認定機関()	[] [人]		平成15年度	実績	
全看護師員の平均年齢	[歳]		平成16年11月1日時点		

注1:病院独自の制度による専門看護師、認定看護師は含まない。

(診療管理の状況)

診療情報管理に専従する者の数	[人]	教進入力欄	測定期間	情報収集方法(情報源)	備考欄
診療情報管理に専従する者の数	[人]		平成16年11月1日時点		
うち、診療情報管理士の数	[人]		平成16年11月1日時点		
1)患者1カ所(カ)制(注1)	[有無]	選択して下さい	平成16年11月1日時点		

注1:「患者1カ所(カ)制」とは、入院歴、病室の平均年齢が55歳以下かつ1カ所(カ)制を有する患者を指す。

1)患者に対して診療料を請求するまでのID番号が付けられている。

2)カルテが病歴部等で中央管理されている。

図表第6
(薬剤師情報)

分子	分母	分子【単位】	分母【単位】	測定期間	情報収集方法	備考
フリアゲイ特許件数 (注1)		フリアゲイ特許件数【件】	処方集発行枚数【枚】	DPCC調査期間中	フリアゲイ特許記録、薬剤師記録	
薬剤管理指導件数 (注2)		薬剤管理指導延べ算定件数【件】	延べ入居患者数【人】	DPCC調査期間中	薬剤管理指導記録、医師記録	
病室管理指導件数 (注2-1)		病室管理指導加算件数【件】	病室延べ患者数【人】	DPCC調査期間中	薬剤管理指導記録、医師記録	
退院指導加算件数 (注2-2)		退院指導加算件数【件】	退院患者数【人】	DPCC調査期間中	薬剤管理指導記録、医師記録	
特定薬剤師指導件数 (注3)		特定薬剤師指導延べ算定件数【件】	対象となる薬剤師患者数【人】	DPCC調査期間中	薬剤管理指導記録、医師記録	
無菌薬剤師管理件数 (注4)		無菌薬剤師管理件数【件】	対象となる薬剤師患者数【人】	DPCC調査期間中	薬剤師記録、薬剤師記録等	
1種以上の多剤処方件数 (注5)		1種以上の多剤処方件数【件】	1種以上の多剤処方患者数【人】	DPCC調査期間中	医師記録	

注1:DPCC調査期間中の処方集発行枚数を指す。処方集発行枚数は、薬剤師が処方集を処方集発行システムに入力し、処方集が発行された時点で1件としてカウントされる。

注2:薬剤管理指導延べ算定件数は、薬剤管理指導記録に記載された患者数を指す。薬剤管理指導記録に記載された患者数は、薬剤管理指導記録の作成時に1件としてカウントされる。

注2-1:病室管理指導加算件数は、病室管理指導記録に記載された患者数を指す。病室管理指導記録に記載された患者数は、病室管理指導記録の作成時に1件としてカウントされる。

注2-2:退院指導加算件数は、退院指導記録に記載された患者数を指す。退院指導記録に記載された患者数は、退院指導記録の作成時に1件としてカウントされる。

注3:特定薬剤師指導延べ算定件数は、特定薬剤師指導記録に記載された患者数を指す。特定薬剤師指導記録に記載された患者数は、特定薬剤師指導記録の作成時に1件としてカウントされる。

注4:無菌薬剤師管理件数は、無菌薬剤師管理記録に記載された患者数を指す。無菌薬剤師管理記録に記載された患者数は、無菌薬剤師管理記録の作成時に1件としてカウントされる。

注5:1種以上の多剤処方件数は、1種以上の多剤処方患者数を指す。1種以上の多剤処方患者数は、薬剤師が処方集を処方集発行システムに入力し、処方集が発行された時点で1件としてカウントされる。

(薬剤師情報)

分子	分母	分子【単位】	分母【単位】	測定期間	情報収集方法	備考
OT検査依頼件数 (注1)		OT検査依頼件数【件】	DPCC調査期間中	医師記録、薬剤師記録		
MRI検査依頼件数 (注1)		MRI検査依頼件数【件】	DPCC調査期間中	医師記録、薬剤師記録		
OT予約持ち帰り回数 (注2)		OT予約持ち帰り回数【日】	予約済患者調査患者数【人】	DPCC調査期間中の任意の日	検査予約システム、予約台帳 等	

注1:OT/MRIの共同利用回数、またはOT/MRIの共同利用回数から削減した件数を指す。

注2:OT/MRIの共同利用回数に予約済患者数を乗じた全患者数を対象とする。

※入院患者、外来患者の予約数に含めない。(注1)は、予約済患者数の日数を指す。

患者により予約日が変更された場合は、最終の予約日数としてカウントされる。

(薬剤師情報)

分子	分母	分子【単位】	分母【単位】	測定期間	情報収集方法	備考
ハニクス用医薬品卸出後滞庫マニュアルの有無		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	検査部	

(薬剤師情報)

分子	分母	分子【単位】	分母【単位】	測定期間	情報収集方法	備考
併用病態診断への対応の有無		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	病棟部	

(薬剤師情報)

分子	分母	分子【単位】	分母【単位】	測定期間	情報収集方法	備考
患者観察によるSANT(労働者サポートチーム)の有無 (注1)		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	情報収集方法	

注1:見下の方を参照する場合は、(注1)を参照すること、(注2)の場合、備考欄に認定記録を記入してください。

(組織改組の状況)

分子	分母	分子【単位】	分母【単位】	測定期間	情報収集方法	備考
経営企画部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	情報収集方法	
安全管理課		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
感染対策室		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
薬剤管理センター		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
退院支援課		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
地域医療連携部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
検査センター		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
薬剤師部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
ICU/ICM部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
医学生部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	
看護実践部		有/無	有/無	平成14年1月1日時点	有/無	

注:注5以内の欄でもよい

調査票7

(医療の質に関する取り組み)

○ 現時点での状況を記入してください。

医療の質に関する取り組みをご記入ください。

(**選択して下さい**) 医療の質を担保するための仕組みがある。

有 どのような仕組みですか。

(**選択して下さい**) 医療の質を担保するために診療内容を客観的に評価する仕組みがある。

有 その仕組みの組織上の位置づけはどのようなものか、またその11月の運営状況について記述してください。

(**選択して下さい**) その他

有 具体的にその内容を記述してください。

(**選択して下さい**) 患者満足度調査の定期的な実施

(**選択して下さい**) 日本医療機能評価機構による医療機能評価の認定

(**選択して下さい**) ISOの取得

(**選択して下さい**) クリニカルパスの導入

有 クリニカルパスの数

数値にて入力してください。(〇〇人)などの単位を入力しないでください。

%で記入してください。(すでに様式をそのように整えておりますので変更しないでください。)

適用患者率(11月の退院患者数)(注1)

注1:「クリニカルパスの適用患者率(入院患者)」とは、11月に入院した患者(11月より前から入院している患者を除く)について、クリニカルパスの適用となった患者の率をご記入ください。

パス適用患者とは、クリニカルパスが適用され完結した患者をさし、逸脱例は除きます。

具体的にその内容を記述してください。

(**選択して下さい**) その他

有

別紙 2

調査対象施設と回答数

施設分類	調査依頼施設数	回答施設数	回答率
DPC病院	82	75	91.5%
DPC試行的適用病院	62	60	96.8%
DPC調査協力病院	20	17	85.0%
DPC新規調査協力病院	85	75	88.2%
合計	249	227	91.2%

アウトカム評価・臨床指標 / 医療機能の変化に係る調査について

集計項目

外来診療の状況

紹介率（外来）
逆紹介率（外来）
時間外・休日又は深夜に受診した6歳未満の初診患者の率
救急用の自動車で搬送された初診患者の率

高度医療の提供実績

高度先進医療の承認件数
専任の治験担当職員の配置による治験管理センター設置の有無

教育研修機能

指導医の数
経歴5年以上の医師数
研修医数
指導医1人当たりの研修医数
研修1年目、2年目の研修医の受人数
1病床当たりの専門医・認定医数
病理解剖（剖検）の数（11月の1月間）
CPC（臨床病理検討会）の開催回数（11月の1月間）
常設の研修管理委員会（卒後臨床研修センター等）の有無
指導医講習会に参加した指導医の数

地域医療との連携状況

地域医療連携室の設置状況
24時間診療受付体制

医療の安全に関する取り組み

専任の医療に係る安全管理を行う者（リスクマネージャー）の職種別人数
職種別人数
医師・歯科医師 看護師 薬剤師 その他の職種
医療にかかる安全管理のための委員会の職種別人数
医師・歯科医師 看護師 薬剤師 その他の職種
医療にかかる安全管理のための委員会の年間開催回数
患者相談室の設置有無

看護師配置の実績

看護職員一人当たりの患者数
専門看護師・認定看護師数

医療の質に関する取り組み

医療の質の取り組み状況
クリニカルパスの数
クリニカルパスの適用患者率

外来診療の状況

前回提出集計表

	紹介率(外来)			
	平成14年11月		平成15年11月	
	DPC病院	構成比	DPC病院	構成比
90%以上	1	1.2%	1	1.2%
80%以上90%未満	0	0.0%	0	0.0%
70%以上80%未満	1	1.2%	5	6.1%
60%以上70%未満	11	13.4%	9	11.0%
50%以上60%未満	23	28.0%	21	25.6%
40%以上50%未満	26	31.7%	29	35.4%
30%以上40%未満	18	22.0%	16	19.5%
20%以上30%未満	2	2.4%	1	1.2%
合計	82	100.0%	82	100.0%
平均	48.4%		50.9%	
最高	90.2%		96.6%	
最低	29.1%		24.7%	
集計除外	0		0	

今回集計結果

	紹介率(外来)					
	平成16年7月~10月					
	DPC病院	構成比	DPC試行的 適用病院	構成比	DPC調査 協力病院	構成比
90%以上	1	1.4%	2	4.4%	1	1.6%
80%以上90%未満	2	2.9%	1	2.2%	0	0.0%
70%以上80%未満	2	2.9%	2	4.4%	1	1.6%
60%以上70%未満	11	15.7%	3	6.7%	2	3.1%
50%以上60%未満	18	25.7%	2	4.4%	6	9.4%
40%以上50%未満	20	28.6%	11	24.4%	17	26.6%
30%以上40%未満	13	18.6%	17	37.8%	26	40.6%
20%以上30%未満	3	4.3%	7	15.6%	11	17.2%
合計	70	100.0%	45	100.0%	64	100.0%
平均	51%		44%		40%	
最高	98%		101%		100%	
最低	26%		21%		23%	
集計除外						48

注)期間の定義の相違有

	逆紹介率(外来)			
	平成14年11月		平成15年11月	
	DPC病院	構成比	DPC病院	構成比
60%以上	1	1.3%	1	1.2%
50%以上60%未満	0	0.0%	1	1.2%
40%以上50%未満	1	1.3%	2	2.4%
30%以上40%未満	3	3.8%	2	2.4%
20%以上30%未満	9	11.3%	5	6.1%
10%以上20%未満	37	46.3%	39	47.6%
0%以上10%未満	29	36.3%	32	39.0%
合計	80	100.0%	82	100.0%
平均	14.7%		13.6%	
最高	64.1%		16.6%	
最低	0.4%		0.0%	
集計除外	2		0	

	逆紹介率(外来)					
	平成16年7月~10月					
	DPC病院	構成比	DPC試行的 適用病院	構成比	DPC調査 協力病院	構成比
60%以上70%未満	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%
50%以上60%未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40%以上50%未満	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30%以上40%未満	2	3.1%	1	7.1%	2	7.4%
20%以上30%未満	10	15.4%	1	7.1%	5	18.5%
10%以上20%未満	32	49.2%	1	7.1%	7	25.9%
0%以上10%未満	20	30.8%	11	78.6%	13	48.1%
合計	65	100.0%	14	100.0%	27	100.0%
平均	14.3%		7.3%		12.0%	
最高	75.5%		31.5%		31.2%	
最低	1.5%		0.0%		0.0%	
集計除外						121

注)期間の定義の相違有